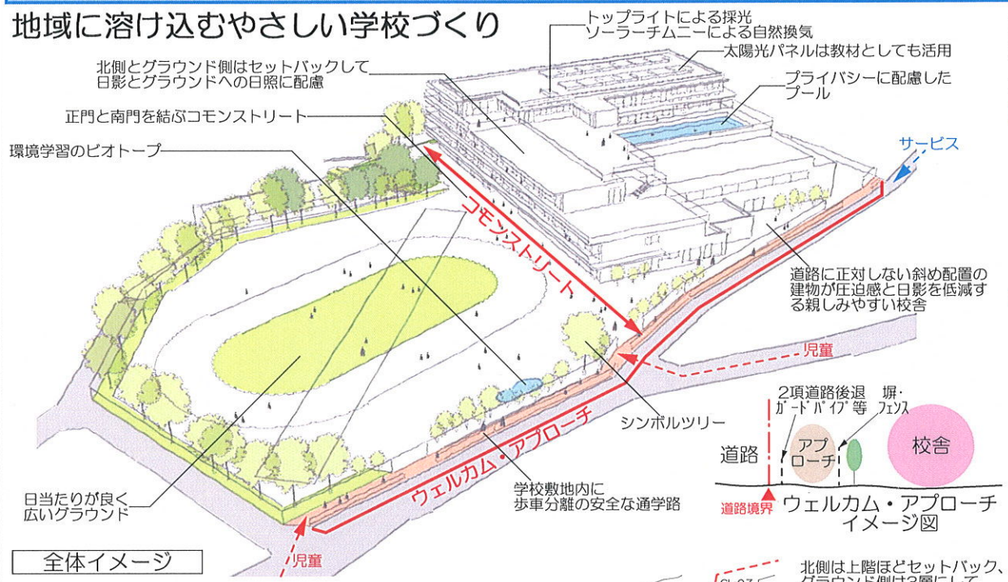
（要項様式３）

提案書（提案項目）

件名	池上小学校建替え工事に伴う設計業務委託	事務所の商号又は名称	株式会社ケー・アール建築研究所

（１）施設計画及びコスト縮減の考え方についての提案

地域に溶け込むやさしい学校づくり



現在の校舎は通学路とグラウンドが狭く、菅田小学校の学区からは統合後の通学距離も長くなります。広いグラウンドと安心・安全な通学路を確保しつつ、児童・先生が使いやすく、地域に開かれたやさしい学校を提案します。

■安全で使いやすい学校

- 北側前面道路沿いの敷地内に歩車分離の「ウェルカム・アプローチ」を整備し児童の安全を確保します。
- 新校舎は既存校舎よりセットバックしてグラウンドを広くし、正門と南門を結ぶ見通しの良いコモンストリートを整えます。時間差通学の混雑の緩和、円滑な避難、緊急車両の通行が可能です。

■機能的で使いやすく、地域に開かれた親しみやすい校舎

- コンパクトな３階建て・一部４階建てとし、上階ほどセットバックさせ圧迫感を軽減し北側樹木畑やグラウンド、芝生への日照を確保します。
- 普通教室は避難やグラウンド・アリーナへの利便性、樹木等の自然への近接感、給食の配膳を考慮して３階までに配置します。
- 回廊を中心にスムーズに上下階に移動できるわかりやすい階段と、死角のないL型配置の視認性が良い教室配置とし、先生同士のコミュニケーションに配慮します。アリーナはグラウンドへの一斉移動をし易くします。
- 多目的教室は普通教室と近接して配置し、教室の延長や学年単位の利用、児童数の変化などに柔軟に対応します。広い廊下を活用して日常的にグループワークや少人数学習ができるワークスペース（WS）を設けます。
- 自主的に使う図書室はPC室と一体で２階中央に設け、多目的室・WS、中庭テラスと連携して学校の中心となるメディアセンターになります。
- 休日・地域の利用室は外部から直接アクセスできる親しみやすい学校とします。放課後キッズは職員室から目が届きやすく、アリーナ・グラウンドと行き来しやすい配置とします。

■一部４階建てになることへの身体的・心理的負担をなくす配慮

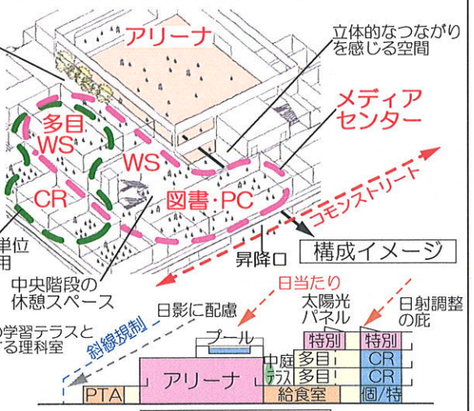
- 中央階段やWSは上下空間の連続や一体感を感じる吹抜けを設け、階段近くに児童が自然光を感じながら休める場所を設けます。
- 教材室は先生が職員室に戻らずとも準備や休憩ができる場として上層階にも設けます。
- 内装や建具・家具への木材の活用、視線が抜ける明るい廊下の採光や通風、中庭の緑など、自然を身近に感じる空間とします。
- 内装の素材や色に変化を付け、居場所を認識しやすくします。

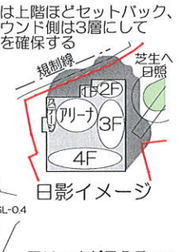
■統合校への配慮　親しみやすく入りやすい校舎

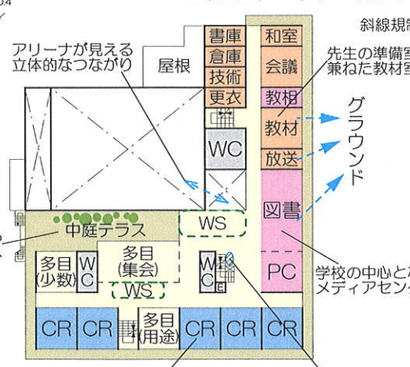
- 統合校の象徴としてシンボルツリーを植えます。印象的なタイル張り（池上小の昇降口、菅田小の階段）や中庭など、旧校舎の面影を感じるデザイン要素を部分的に取り入れます。
- 両校の郷土資料を引継ぎ両校の歴史と共に１階回廊のギャラリーに展示し、広い昇降口ホールと共に交流が生まれる場とします。

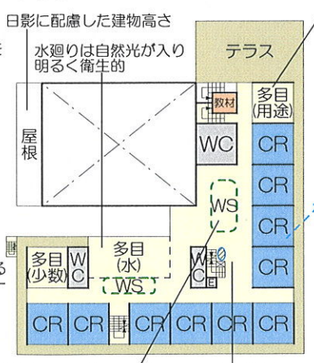
■コスト縮減　既存の利用、廃棄物削減と省エネルギー

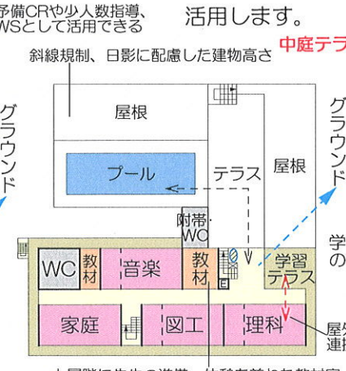
- 既存の高低差を活用した造成計画で土の搬出入を減らします。
- 既存校舎の基礎・躯体を山留めに利用し、底盤を残して流動化処理土を充填しラップルコンクリートとしての活用を検討します。
- 間仕切壁は遮音・耐火の軽量な乾式壁にするなど建物全体の軽量化に努め、躯体と基礎を少なくしてコストを削減します。
- プレキャストコンクリートの活用により工期短縮と品質の向上、LCCO2の削減を図ります。
- 太陽光発電や雨水の中水・散水利用など、環境学習の教材にもなる環境負荷低減対策を施し、CASBEE-Sランクを目指します。
- 日射調整の庇や吹抜けのソーラーチムニーなど自然エネルギーを活用します。

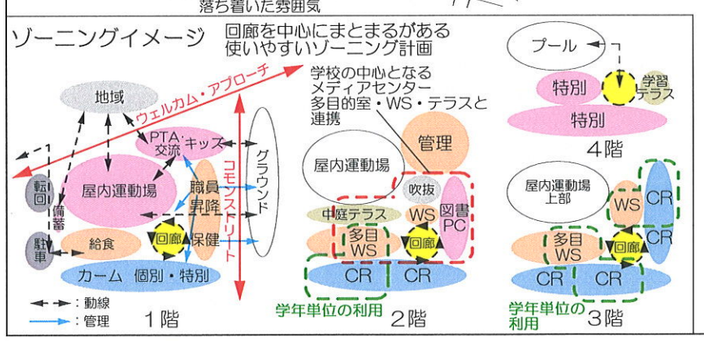






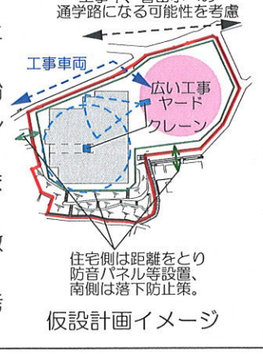






（２）工事中の安全・近隣環境への配慮についての提案

- 菅田小学校への通学路と工事車両ルートが交錯しないよう入念に調整します。
- グラウンドに広い工事ヤードと重機スペースを確保して駐車場や資材置場、土の堆積場として活用し、道路使用をせずに工事できる計画とします。
- 解体は低騒音・低振動のワイヤーソー工法などを用います。近隣への騒音・粉塵に注意した足場計画とし、日影に配慮しつつ防音パネルやシート養生を施します。南側崖下へは落下物対策を施し住宅側は足場からの目線に注意します。
- グラウンドまたは中庭テラス部にクレーンを設置し効率の良い施工計画とします。４階建ての南棟から先行で施工し、アリーナ棟、東棟と順次施工します。
- プレカットや工場製作の活用など、搬入車や重機のサイズダウンと往来の回数減を図り、道路の要所に警備員を配置し安全性を高めます。
- 大型車の搬入が難しいことを念頭に、コンクリート打設など予め工区分けを考慮した無理のない設計とします。



（３）業務の成果物等の品質確保、業務の進め方と取組体制についての提案

- 教育施設の実績のある設計者で体制を組み、経験を基に課題と解決法を想定した上で基本設計を行い精度の高い概算を導き、要点を効率化し作図を早めることで積算時間を確保し整合のとれた質の高い実施設計を行います。経験豊富な監査担当者による進捗と成果物の確認を徹底し品質を確保します。
- 打合せ資料・議事録の情報共有を社内・協力業者間で毎回確実に行い齟齬のない業務遂行とバックアップ・二重チェック体制を整えます。
- コスト配分・管理表を作成し、基本設計の着手時、中間時、まとめ時に仮設や構造・設備計画を含めて設計情報を適正に反映して精度の高い概算工事費を算出し、実施設計の積算時の予算超過、設計の手戻りをなくします。
- 日影や騒音対策などに関して、丁寧で誠実な近隣対応を行います。